

ドリームパーク 出前授業

11月15日（水） 【ドリームパーク 出前授業】仁比山小学校（神埼町鶴）
15:20～16:20 ゆめ組

11月22日（水） 【ドリームパーク ほし組 出前授業】仁比山小学校（神埼町鶴）
15:20～16:20

テーマ：『水から世界を考えよう』～水のろ過実験～

- ドリームパークは、放課後の小学校を子どもたちの安心・安全な居場所として開放し、地域の大人たちの指導のもと、スポーツや文化活動などのさまざまな体験を通して心豊かでたくましい子どもを育てることを目的として神崎市社会教育課が行っている事業です。今回は、仁比山小学校ドリームパークの1年生から3年生の子どもさんを対象に出前授業を行いました。
- 佐賀県ユニセフ協会からは、「水から世界を考えよう」というテーマで出前授業をしました。世界には、きれいな水が飲めなくて病気になったり、水汲みのために学校に行けなかったりする子どもたちがたくさんいます。日本のように水道の蛇口からまっすぐ飲める水がある国は世界でも13ヶ国ぐらいです。子どもたちに水の大切さや有り難さ、世界の現状などを知ってもらい、“水のろ過実験”を通して自分たちにできることを考えて欲しいと願って授業を行っています。



【クイズを通して“水”について知ろう】



【熱心に実験に取り組む子どもたちの様子】

【実際に水を運ぶ体験をする様子】

■ (参加者の感想)

子どもの感想 < 初めて水運びをしてみて、こんなに重いものを毎日、遠くの皮から子どもが運んでいることにビックリしました。

ドリームパークの支援員の方

私たちが今回初めて、水から世界を考える授業に参加しましたが、水の大切さを再認識しました。まだ世界には今もきれいな水の恩恵を受けられずに生活している子どもたちがいることも動画を見て改めて確認できました。

水のろ過実験は初めて見ましたが、子どもたちが地下水と同じ仕組みで泥水がきれいな水になっていく様子に目を輝かせて取り組んでいる姿をみて、嬉しく思いました。これから水を大切にすることを皆が持ちました。